



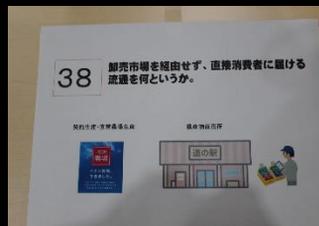
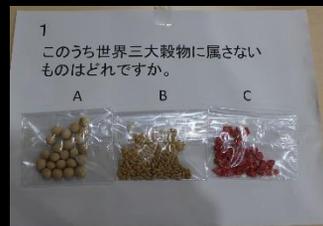
農業鑑定競技会

No 勘! 校内大会=全国大会代表予選会



農業鑑定競技会(通称:ノーカン)は、日頃の学習で得た農業に関する知識・技術の成果を、鑑定・判定・診断・審査技術にわたり、その実力を競い合います。出題数は40問で、農業生物、種子、肥料、機械機具...等々を20秒または40秒というわずかな時間で鑑定・判定し、その正答率を競います。

農業版実物クイズ



目的と目標の違い。ノートづくりがゴールではない。その先へ!

今回も多くのクラブ員が休み時間や放課後、休日に勉強している姿が見られました。ノートに何も記入しない人に比べれば、しっかりと記入している人の点数が高い傾向にあるのは確かですが、ノートを記入した割には点数に反映されていないクラブ員もいるようです。なぜ、でしょうか。今一度、目的と目標を整理する必要があります。目的と目標は似て非なるものです。目的というのは最終到達地であり、ゴールです。今回の場合、点数を獲得というのが目的です。対して、目標は目的にたどり着くための、目印や手段を指します。ノート記入はあくまで目標に過ぎません。出題範囲や項目単体の知識を把握するためには欠かせないものですが、点数を獲得に繋げるためにはもうひと手間必要です。およそ半分が選択式で出題されたように、知識だけでなく、比較・判断・診断する力が求められます。知識の一覧を分類したり、整理する作業が必要です。選択式だからと言って、勘頼みでは通用しません。丸暗記だけでは乗り越えられないのが農業鑑定の難しさであり、面白さでもあります。次回は、ノートづくり+αの頑張りを期待します。